

# 色々な石を集めてオリジナル標本箱を作ろう

川原できれいな石を見つけると、きっと、ひろってみたいくなるでしょう。何という名前の石か、知りたくなるかもしれません。実際の石は、図鑑のようなものばかりでなく、大きさや色も様ざまです。そこで、川原の石の多様性を利用して、色々な石を集めて、オリジナルの標本をつくってみましょう。

どんな石にも、長い歴史と科学がとじこめられています。じっくり観察して、石にひそむさまざまな物語を読みとってみましょう。

----- 必要なもの -----

- ・お菓子箱などで丈夫なはこ
- ・小さなプラスチックトレイ（試食用や醤油用の使い捨て小皿）

## 1 石を集める

川原に行ったら、石を集める場所を決めます。その範囲で自分の気に入った石をたくさん集めましょう。例えば……

【いろいろな色の石を集めてみましょう】

川原で10分も集めれば赤色・白色・黒色・緑色・黄緑色・灰色・茶色・紫色などたくさんの色の石が見つかります。

【いろいろな形の石を集めてみましょう】

川原の小石は、どれも川の上流から運ばれてきたものです。遠く離れた場所からやってきたものは、石の角がとれて丸みをおびています。しかし、よくみると、さまざまな形をしたものがあります。丸・三角・四角にふしぎな形。

【いろいろな模様の石を集めよう】

小石には、スジもよう・アミ目もよう・しまもよう・ごま塩もようなど様々なもようがあります。いろいろな模様の石を集め、どのような岩石に、どんな模様がみられるのか、どうしてでできたのか想像してみましょう。

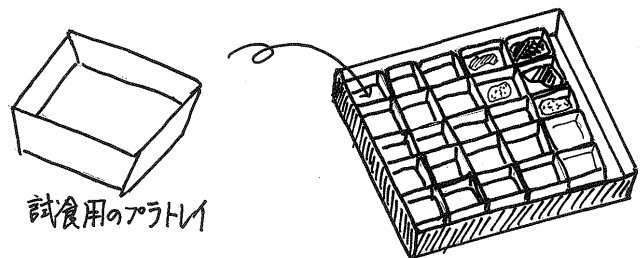
## 2 標本箱作り

拾ってきた石は、ビニールシートや新聞紙の上に広げます。

集めた石がどうしてできたのか。どこから来たのか、など考えて友だちに自慢してみましょう。

【でき方を考えよう】

- ・形からどうして丸くなったり、角ぼったりしたのか考えましょう。



・模様から、どうして粒々ができたのか。筋がどうしてできたのか考えてみましょう。

色や形から石にニックネームをつけます。名前を知りたい場合は、図鑑をみて決めます。似ているなどと思ったら、「○○に似た石」「○○のような石」とします。

【説明をつけよう】

名前や形がどうしてそのようになったか、自分なりの説明文をつけると標本らしくなります。友達に説明してみよう。もしよい説明があったら教えてあげましょう。

わからないところは、?マークや感想を書いておき、先生に質問しましょう。解決したら○など印をつけておきましょう。

【オリジナル標本の例】(ラベル)

【まんまる石】

川を流れながらやってくるうちに、いろいろなところとぶつかって、丸くなった。

【石灰岩】

昔の生物の殻がたくさん集まって押しつぶされてできた石。『どんな生物がいたか考えよう』

【安山岩のような石】

※図鑑の説明を記入して、インストラクターの先生に説明を聞く。

【花崗岩】

白い粒と黒い粒、風化の様子などから色がだいぶ変わっていることなども書こう。

←小学校低学年

小学校高学年・中学生→

【すじすじ石】

地層が、大地の大きな力で、「ぎゅっ」と押しつぶされてすじの模様になった。『どこでできたのかな?』

【ごま塩石】

黒と白の粒がたくさんある。熱い石の元(マグマ)が冷えて固まってできた。『溶岩とどこが違うのかな』

【砂岩】

砂が固まってできた石。  
※図鑑の説明など記入して、インストラクターの先生に説明を聞く。

「～岩のような石」「～岩に似た石」でよい。その名前とでき方から、今ここで見られるなどを解決しましょう。

観察するときの注意事項

川原で石を探すときは次のことを必ず守ってください。

・絶対にひとりで行かないこと。

必ず複数で行くようにしましょう。特に小学生は大人と一緒に行ってください。

・川の増水に注意しましょう。

今晴れていても上流で降った雨で急に増水することがあります。十分気をつけてください。

・川に入らない。

深みにはまったり、転んだり川の中は危険がいっぱいです。川に入らないようにしましょう。

・むやみに石を持ち帰らない。

環境を保全するために、標本にする以外の石をむやみに持ち帰らないようにしましょう。

・絶対に石を投げない。

人に当たったりすると危険です。